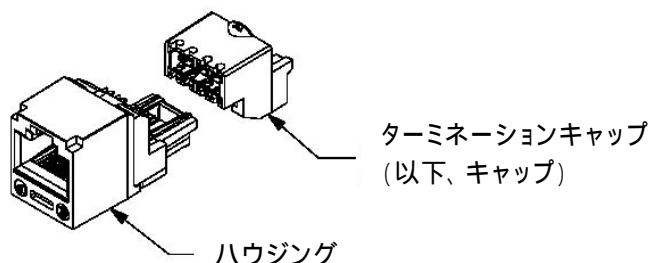
取扱説明書

06005B

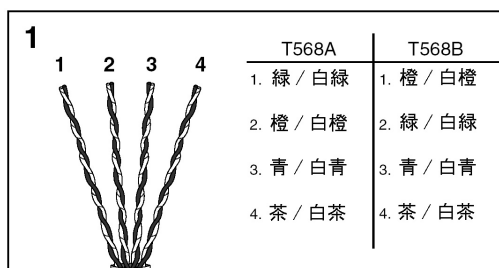
ﾐﾆｺﾑ　TP ｼﾞｬｯｸﾓｼﾞｭｰﾙ

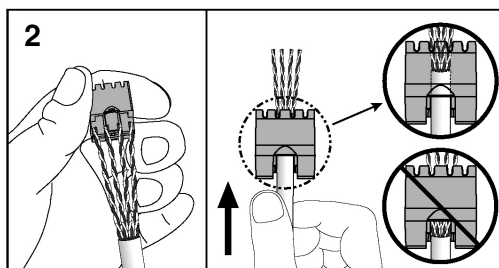
Part Numbers: CJ5E88T■■,CJD5E88T■■
CJ688TP■■,CJD688TP■■

取扱説明

■成端仕様：
- 外被覆の外径は 6.5Φ㎜ 以下のＵＴＰを設定
- 導線径は 0.5～0.65Φ㎜（24～22AWG）
- 導線絶縁径は 0.965～1.2Φ㎜
- ＩＤＣは単線及び導体より心線の成端が可能
- Ｔ５６８Ａ及びＴ５６８Ｂ結線の成端が可能
- ＣＧＪＴ工具を使用して一括圧接

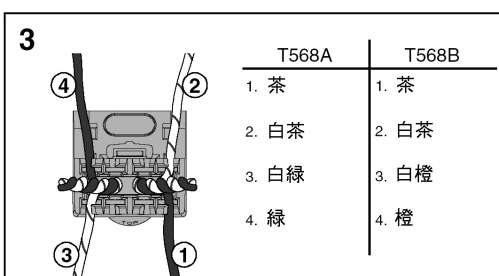
成端手順

1

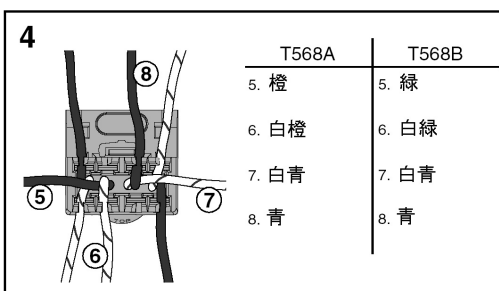
T568A	T568B
1. 緑 / 白緑	1. 橙 / 白橙
2. 橙 / 白橙	2. 緑 / 白緑
3. 青 / 白青	3. 青 / 白青
4. 茶 / 白茶	4. 茶 / 白茶

外被覆を３０㎜程むきます。
一旦４対を放射状に開き十字介在がある場合には根元でカットします。
次に結線仕様に従って対の並び替えを行い１列に整えます。

2

４対導線の先を細め１列に整えてキャップに挿入します。外被覆の先端がキャップの奥までしっかりと入っている事を確認します。
中途半端な挿入は望ましく有りません。

3

T568A	T568B
1. 茶	1. 茶
2. 白茶	2. 白茶
3. 白緑	3. 白橙
4. 緑	4. 橙

図のように①～④の順番に導線をキャップの溝により分けます。より戻しの寸法が最小となるように注意します。
Ｔ５６８Ａ結線で茶、白茶、白緑、緑
Ｔ５６８Ｂ結線で茶、白茶、白橙、橙

4

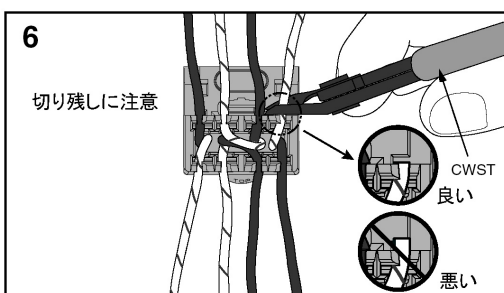
T568A	T568B
5. 橙	5. 緑
6. 白橙	6. 白緑
7. 白青	7. 白青
8. 青	8. 青

次は⑤～⑧ですが
⑤を一旦引き寄せ⑥を溝により分けます
⑦を一旦引き寄せ⑧を溝によけ分けます
Ｔ５６８Ａ結線で橙、白橙、白青、青
Ｔ５６８Ｂ結線で緑、白緑、白青、青

5

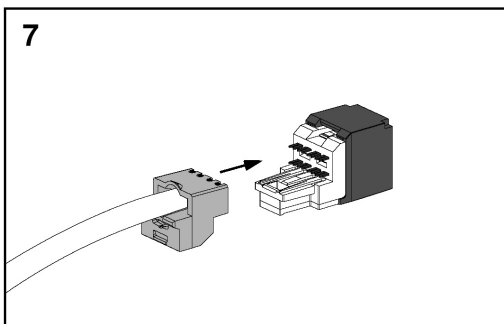
T568A	T568B
9. 橙	9. 緑
10. 白青	10. 白青

その後は⑨と⑩で
Ｔ５６８Ａでは橙と白青を溝に
Ｔ５６８Ｂでは緑と白青を溝に
より分けます。

6

切り残しに注意

各溝へのより分けが出来ましたら切残しの無いように平らな面の有るニッパで不要な導線をカットします。

ケーブルの予備加工が完了しました。

7

ハウジングにキャップを装着し図のように圧接補助工具（ＣＧＪＴ）をハウジングのトップとキャップの後側にあてがって矢印の方法に動かすと一括圧接されます。

8

キャップ取外し手順

1

2

3

注意事項:

1. ジャック成端は 22～24AWG で単線及び導体より心線を使用できます。
　ＩＤＣは同一サイズまたはそれより大きいサイズの導線を最小 10 回の再成端ができます。
　導体絶縁体は一般 PVC またはプレナムグレードで外径は 1.2mm 以下。
2. 指定サイズより大きい導体をスロットに挿入しないでください。

全てのワイヤリングアクセサリと同様に、下記の概念に従ってください。

1. 雷や嵐の中では通信ケーブルの施工は行わない。
2. 特に水場で使用できるように設計されたコネクタを除き、濡れた場所での通信ケーブルの施工は行わない。
3. 通信ラインがネットワークインターフェースから切り離されている時以外は、導線や端子を手で触れない。
4. 通信ケーブルの施工や修理の際には警告文を良く読み、行ってください。

改版履歴

版数	改版日	変更内容	担当
01	2006.08.30	初版制定	山之内
02	2006.11.21	手順５を追記	山之内